

日本のフードバンク活動

環境問題と社会福祉



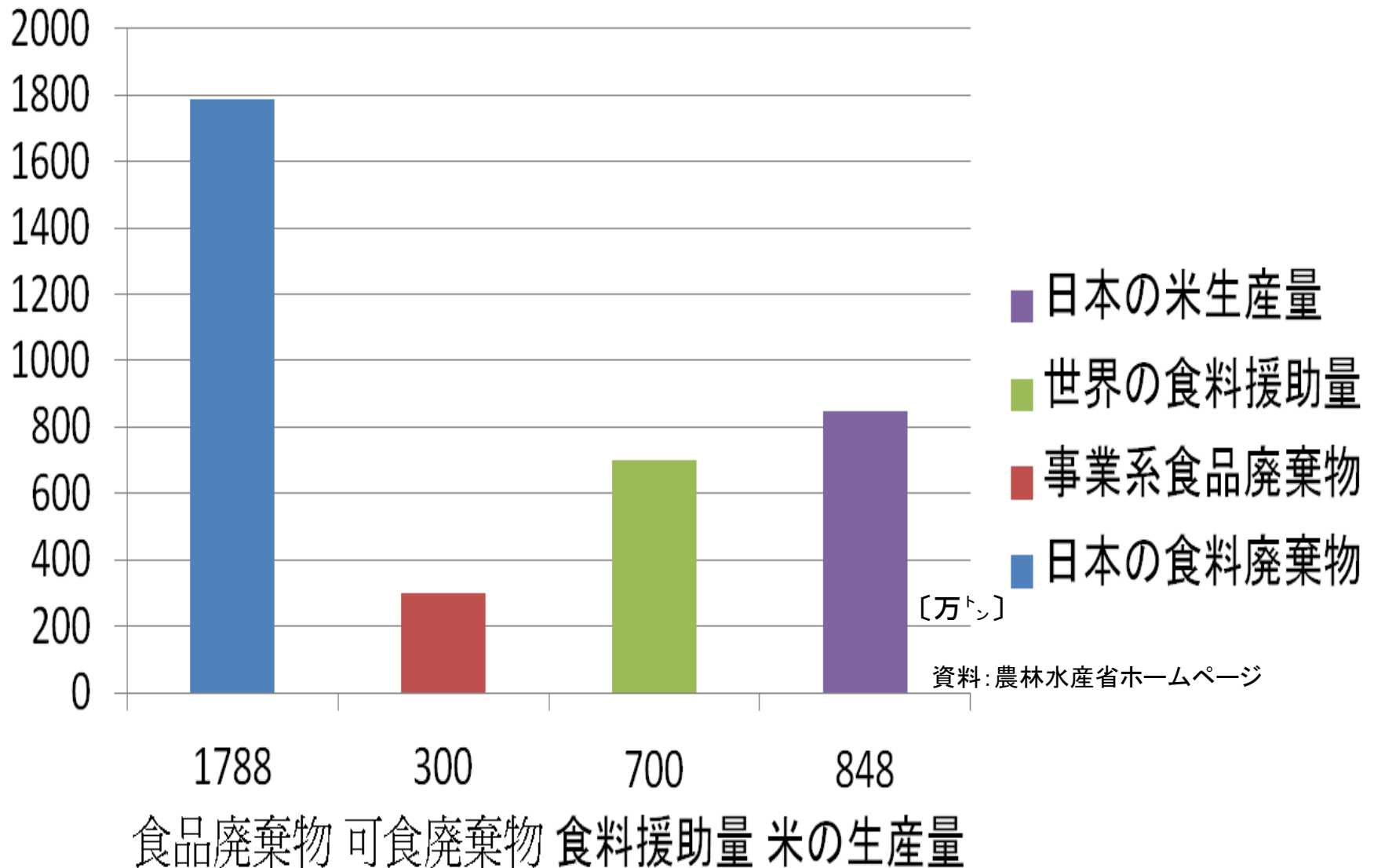
アミーゴス総会記念講演

本岡俊郎

前・セカンドハーベスト名古屋理事長

2016-6-25

日本の食料廃棄の現状



フードバンクの定義

食べ物としては問題ないのに、商品として価値が無くなった食品や青果物を、企業から無償でもらって、生活困窮者に配る活動。

FOOD BANK ?

食品会社・青果市場・個人

FOOD BANK [セカンドハーベスト名古屋]

生活が苦しい人達 / 日本人・外国人

無料で食品を受領し、無料で配布する無償性の原則。そのための経費は、すべて寄付でまかなう。⇒ 日本の社会での現実 is 厳しい。

配られる食品

- 1) 常温流通の加工食品
- 2) 青果物
- 3) 惣菜(要冷蔵食品)、ごはん類
- 4) 冷凍食品
- 5) 災害時緊急対応備蓄食品。

★冷凍食品のコロッケ

輸入品。食品衛生法の一般菌規格には合格し検疫は通過したが、発注企業の受け入れ菌数規格に不合格。当法人に提供される。

提供量: 500ケース (75,000個)



★欧州メーカーのアイスクリーム

585ケース × 7.5kg = 4.4t

★規格外の青果物

中央卸売市場のスーパー向け加工場で毎日発生。
日量数百kg(毎回変動)。年間70トンの実績。





● 災害用備蓄品 (基本5年保管) の放出



セカンドハーベスト名古屋(2H-N)の活動

〔活動地域〕 東海3県と静岡県: **日本人口の11.8%** 1500万人

〔2014年の実績〕 配布量 517トン 金額換算 **約3.1億円**。

支援先	配布量(トン)	構成比(%)	前年比(%)
外国人支援	190.5	36.8%	77%
日本人支援	136.3	26.3%	114%
社会福祉団体	157.8	30.5%	104%
他のフードバンク	27.0	5.2%	300%
個人支援	5.9	1.2%	370%
合計	517.5	100%	100%

活動の特徴①／外国人が際立って多く住む地域

平成26年末

*** ラテンアメリカ出身者が減少(23年136→26年110)**

	愛知	三重	岐阜	静岡	合計	全国	構成 比 %
ブラジル人	49	12	10	24	95	181	53%
ペルー人	7	3	1	4	15	48	31%
小計	56	15	11	28	110	229	48%
フィリッピン 人	28	6	10	13	57	209	27%
中国人	47	9	13	11	80	649	12%
その他	67	11	11	19	108	979	11%
合計	198	41	45	71	355	2066	17%

活動の特徴②／ホームレスへの手厚い支援体制

厚労省のホームレス調査

愛知県 **367人**

	平成27年	平成22年	平成15年	27／15
愛知県	367	747	2121	24%
岐阜・三重・静岡	148	342	2253	7%
全国	6,541	13,124	25,296	26%

* 日雇労働者の減少

出稼ぎ→肉体労働→破産・怪我→ホームレスの図式が消滅。

* 厚労省政策転換で大幅減少。生活保護受給要件緩和。

* 古典的スタイルのホームレスから、ハウスレス若年層へ変化

東京都 1,498人 神奈川県 1,204人 大阪府 1,657人

炊き出しの風景

●「福信館」

名古屋市を中心部で毎週2回。

1回に250人～300人に配食。

既に30年の歴史を有す。

(右上) 炊き出し専用の建物「福信館」

(右下) 調理施設

(下) 二重の保温鍋を使う。

冬でも冷めない



●ブラジル人キリスト教会

(日本人ホームレス90人)

イカのデミグラスソース仕立てとポテトサラダ



活動の特徴③ 社会福祉施設

- ・社会福祉施設は、一般に食品を緊急に必要とする生活困窮者の施設ではない。

障害者自立支援施設・児童養護施設・母子寮等

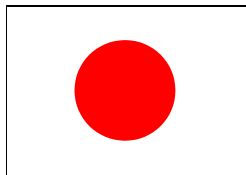
- ・しかしフードバンクからの支援を歓迎する施設も多い。

(例) 食費を浮かせて買えないデザート等を買う。

- ・配りきれない場合に消化に協力してもらう対象でもある。
- ・7老人介護施設は、「食」の専門業者が、仕入れ、調理、配食迄一括しているケースが大半。フードバンクは必要とされない。



社会福祉施設は、贅沢でないけれどしっかり運用されている。



日本のフードバンク

誕生:

2000年 :

セカンドハーベストジャパン

東京でチャールズ・マクジルトン氏が創設。

同時期、FB関西誕生。



全国FB合計(推計)

震災支援は除く

2009年 1000トン

2013年 2400トン

2014年 2700トン

[全国約40FB]実績の伸びは鈍い

1984年来日。

1995年山谷で自立センター。

1997年隅田川沿でテント生活。

2000年FB設立に参加。

日本のフードバンクの推移

- 2000年 東京・関西で始まる。
- 2007年 「ガイアの夜明け」で全国放送。反響が大。
- 2008年 名古屋・広島・沖縄・仙台・山梨などで始まる。
 - ・主にセカンドハーベストジャパン(2HJ)からの提供に頼る。
- 2010年 2HJが主唱しフードバンクがイラン賛同FBが集まる。
- 2011年 東日本大震災。2HJ始め各FBが支援に奔走。
- 2014年 2HJのアメリカ型FBコントロールに不協和音で始める。
 - ・母子の貧困、老後破産、非正規雇用の失業者など表面から見えない貧困に関心が向けられる。
- 2015年 全国FB推進協議会が発足。全国団体が2分裂。
- 2015年 生活困窮者自立支援法施行。
 - ・名古屋、千葉、関西などが行政／社協と連携
 - ・各地でFB設立ブームとなる。